

視聴覚教育

NO. 407

発行日

26.11.28

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会
学習情報部

これ知ってる！？

『LINE外し(はずし)』
SNS上では利用者がグループを作って交流をはかる。「LINE外し」とは、あるグループから特定の人物を強制排除することである。排除された子だけ、同じ話題についていけない状況を作り出すことになり、いじめの手段として問題視されている。

Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ

情報モラル教育の重要性と更なる充実を！

先日、「情報モラルの育成について」生徒指導部・道徳部・学習情報部による合同自主研修会が開かれた。

生徒指導部からは、情報モラルについて、生徒指導の側面から北中の兵藤輝徳指導員に研修をしていただいた。急激に増えている各種SNSによる生徒間トラブルの事例を聞くことができた。また、SNSに関する



トラブルの指導において、情報提供者を特定されないような配慮が大切であると話された。

道徳部からは、授業で行う情報モラル育成について矢作北小の本郷一毅指導員から研修をしていただいた。道徳の授業で情報モラルを育成するためには、子供の心をしっかりと見据え、教師がねらいを明確にすることが重要であると話された。

学習情報部からは、教員自身の情報モラルについて、羽根小の成瀬正和先生が研修をしていた。 「授業における著作権」の遵守する意識や、子供たちの個人情報管理など、教員の守秘義務を遵守する意識の大切さや、個人情報管理する責任の重さを、再認識する内容であった。

会の後半には、参加者がグループで情報交換を行う時間を持った。普段は聞けない他校の現状や取り組みを聞くとてもよい情報交換の場となった。会に参加された先生からは、「小・中両方の実情を聞けてよかった」「合同という点に大きな意義を感じた」などの感想をいただいた。

このような教員の連携を強化する研修会に、強い必要性を感じた。今後も機会を設けて、こうした研修会を企画していきたい。

子供の主体的な学びを求めて

— 葵中学校のICT活用に学ぶ —

現職研修委員会学習情報部長 本間 茂夫

10月22日、葵中学校で授業研究協議会が開催された。文部科学省や岡崎市教育委員会の委嘱、パナソニック教育財団の研究助成を積極的に受けて挑戦された実践研究は、情報端末を含むICT活用の新たな方向性を示すものとして多方面から注目を集め、市内外から六百名を超える参観者があった。また、当日は文部科学省生涯学習政策局課長も視察に訪れた。

公開された授業では、子供がICTを活用して互いの考えを発表し合ったり、個々のスピードに応じて課題に取り組んだりする場面が多く見られた。ICT活用のポイントはこの点にある。教師主導型の一斉学習では、子供たちはどうしても受け身になりがちである。しかし、タブレットPCや教材提示装置などを有効に活用することで、さまざまなスタイルの授業デザインが可能になる。仲間と協力して問題を解決していく「協働学習」や、個々の課題に応じて学習を進めていく「個別学習」などを、日常的にICT活用と絡めて授業に仕込むことで、子供はより主体的な学習者として生まれ変わる。葵中学校の授業では、自ら学ぶ子供の姿が、全ての教室において見られた。

わたしたちが、葵中学校の実践から学ぶことは多い。葵中学校は、ICTに堪能な教師や専属のIT支援員が常駐しているような特別な学校ではない。限られたICT環境の中で、情報端末やデジタル機器の効率的な活用方法を工夫したり、デジタル教材の効果的な活用方法を工夫したりすることで、子供が主体となる「新たな学び」の実現を追究してきたことを忘れてはならない。

文部科学省は今年の八月に「ICTを活用した教育の推進に関する懇談会」報告書(中間まとめ)を公表した。これは、平成二十九年までのわが国の教育の展望を示したものである。ここにもICTを活用した教育推進の側面として「ICT活用による教育の質の向上」が明記されている。葵中学校が実践してきた普通の教師による普段使いのICT活用には、子供の確かな学びを支え、今求められている教育の質を高めるヒントが詰まっている。ICTを使えばよいのではない。教科指導の目的に沿ったICTの効果的な活用を工夫することで、子供たちの主体的な学びを追究していくことが肝要なのである。

そして葵中学校にあふれていた熱い思いの源は、生き生きと学び合い、磨き合い続ける子供と、表情豊かに授業をされる先生方の姿にあることを心に刻みたい。

実践報告Ⅱ
教室内のICTを活用して

竜谷小学校 八木 規之

学校内のICT環境はここ数年でずいぶん整ってきた。本校では、授業以外でもICT活用
の場が広がっており、学習活動のどの場面で、
こうした機器をより効果的に利用できるかを、
探っている。その例を紹介する。

①朝の学習

百マス計算など時間を計る学習を行うときは、
大型テレビにタイマーを映し出している。解き
終えた子は各々、テレビのタイマーを見て自分
のタイムを確認している。こうすることで教師
が逐一タイムを読み上げる必要がなくなり、全
ての子が学習に集中できる環境が保障できてい
る。この静かな環境の中で行われる学習は、確
実に子供たちの実力をつけてきている。

②日直のスピーチ

スピーチは、自分が撮った
写真を見せながら話ができる
ようにしている。写真の準備
に必要なデジカメは、数日前
に貸し出す。家庭から実際の
写真を持ってくる子もいるの
で、教材提示機も使えるようにしている。最初
は戸惑っていた子供も、映像を使いスピーチを
することで、生き生きと話をするようになった。



③合唱練習

合唱練習では、教材提示機をカメラ代わりに
し、子どもの表情を大型テレビ映すようにして
いる。テレビと対面する形で練習を行わせるこ
とで、「恥ずかしさを忘れ、「口の開け方が小さい」
「表情が固い」など、自然と仲間同士で声をか
け、練習しあう姿が見られるようになってい
る。ICTの活用で、学習がより意欲的・主体的
になることを、実践を通して実感している。

Ⅱレッツ・トライⅡ
「タブレットPC活用のすゝめ」

小学校でのタブレットPCの有効性を検証す
るために、学校で7インチのタブレットPCを
導入した。授業など色々な場面で使用しており
とても重宝している。その活用例をいくつか紹
介し、他の機器を利用した場合と比べたメリッ
トについて紹介したい。

①行事等の音響に

今年度の学芸会では、タブレットPCを使っ
て、劇中の音楽、効果音を再生した。

・ラジカセに比べて読み出しが早い。

・パソコンに比べて、操作が直観的で、子供で
も操作が容易である。

・パソコンより持ち運びに優れ
操作環境を選ばない。

②体育の授業・部活動で

陸上部での走り高跳びの指導
で使用した。体育のマット運動
やその他の競技でも、フォーム
チェックなどに活用でき、更な
る可能性を感じる。

・デジカメに比べて、画面が大きく見やすい。
・感覚的に操作が分かりやすく、一時停止や拡
大表示など子供でも操作がしやすい。

③タイマーとして

教室には大型ディスプレイがあるが特別教室
にはない。そこで、理科実験の時間を示すのに
よく使っている。

・円グラフが減っていく表示は、時間の経過、
残り時間などが視覚的に分かりやすい。
操作が簡単で場所を取らないことが最大のメ
リットではないだろうか。非常に便利な機器で
あるので、これからも台数を増やして活用の幅
を広げたい。



(矢作西小学校 学習情報主任 山本浩司)

ライブライリーだよ

●教材をご利用ください

ライブライリーではビデオ・DVD教材の貸
し出しをしています。昨年度は五十三本の教
材を購入しました。「視聴覚教材・機器利用
の手引」に教材の一覧が掲載されています。
また、ライブライリーのホームページでも検索
ができます。ぜひ御利用ください。

【昨年度購入教材の一例】

- ・理科「太陽のうごきと地面のようすを
しらべよう」対象 小学三年
- ・理科「季節と生き物」1年間を
ふりかえって」対象 小学四年
- ・理科「流れる水のはたらき」③「川と
わたしたちの生活」対象 小学五年
- ・総合「原子力発電はなぜ生まれたか
エネルギー文明の歩み」対象 中学生
- ・特活「高校入試面接対策シリーズ」①
自己PRの書き方は…」対象 中学生
- ・特活「安全な自転車のルール」Ⅱ
危険への備え」対象 小・中・高

●締め切り迫る!! 12月5日(金)まで

- 岡崎市視聴覚ライブライリー60周年記念
第12回ふるさと岡崎メディアコンクール
- 岡崎市視聴覚ライブライリー60周年記念
OAVLマスコット募集

※お問い合わせ・郵送先

- 岡崎市視聴覚ライブライリー
〒444-8601
岡崎市菅生一丁目三番地一
Tel 二三三-六七八九